

- 記者発表資料 -

**海洋・港湾技術の早期実用化に向けた
共同研究協定の締結について**
— 京浜港ドックを活用した実証試験の開始 —

平成30年6月8日に京浜港ドックを活用した「海洋・港湾技術の早期実用化に向けた実証試験」の一般公募を行い、先般、2件4者の民間からの提案課題を選定したところです。

選定された課題は、いずれも関東地方整備局が推進しているi-Constructionに寄与する案件であり、官民共同で研究を進めることにより、関東地方整備局と各提案者の双方に相乗効果が期待されることから、この度、各提案者と共同研究協定を8月7日に締結いたしました。(別紙1参照)

今後、上記協定に基づき、来月より実証試験を進め、我が国の海洋・港湾に係る新技術の早期実用化並びに海洋・港湾工事への適用を通じた生産性の向上を目指します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ

お問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部

海洋環境・技術課 課長

海洋環境・技術課 課長補佐

係長

電話 045-211-7420

たかはし やすひろ

高橋 康弘

くぼ てつや

久保 哲也

すが たかし

菅 崇

FAX 045-211-0204

海洋・港湾技術の早期実用化に向けた
共同研究協定の締結について
—京浜港ドックを活用した実証試験の開始—

日 時：平成30年8月7日（火）15：00～15：30

場 所：国土交通省関東地方整備局港湾空港部

出席者：五洋建設株式会社	常務執行役員	小辻	昌典
(代表者) 東洋建設株式会社	土木技術部長	小倉	勝利
東亜建設工業株式会社	技術研究開発センター長	青野	利夫
一般社団法人海洋調査協会	会 長	川嶋	康宏
			(以上 課題受付順)
関東地方整備局	副 局 長	松永	康男



写真-1

五洋建設株式会社、東洋建設株式会社、東亜建設工業株式会社
との締結

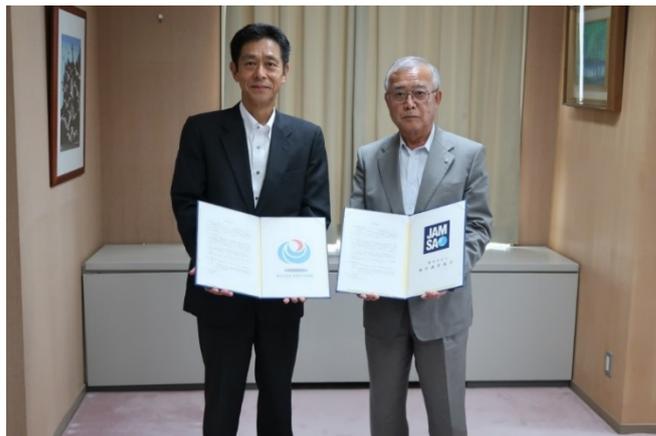
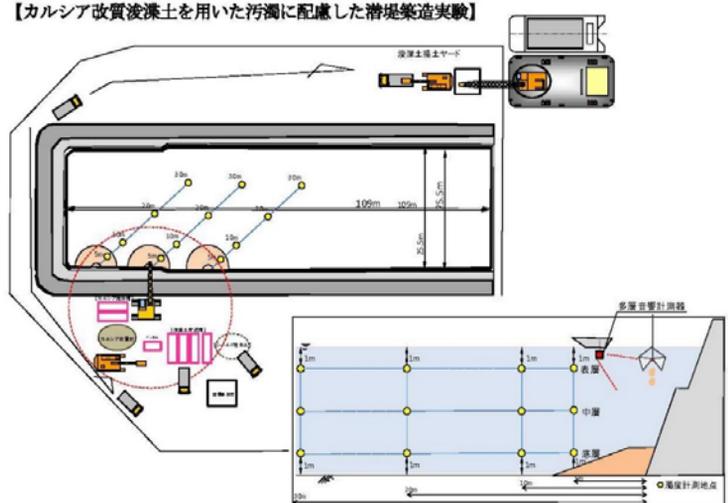
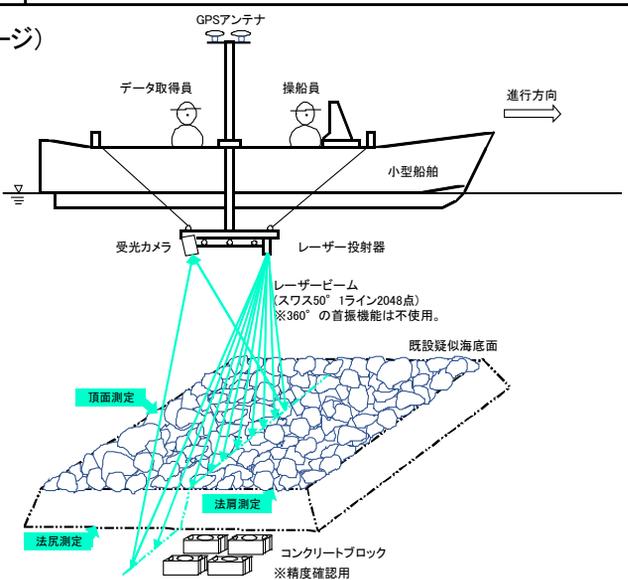


写真-2

海洋調査協会との締結



写真-3 各提案者と松永副局長

提案者	課題名	テーマ	提案概要 (背景・目的および試験内容)
<p>五洋建設株式会社 東洋建設株式会社 東亜建設工業株式会社</p>	<p>海域利用拡大が期待される土砂材料の汚濁拡散特性の把握と汚濁低減を追求した施工手法の検証</p>	<p>・効率的な港湾工事の施工技術</p> <p>(実証試験概要イメージ) 【カルシウム改質浚渫土を用いた汚濁に配慮した潜堤築造実験】</p> 	<p>本試験では、カルシウム改質浚渫土を海域に投入する際に汚濁を極力抑制できる施工条件と、形成される堤体の性能を確認することで、汚濁拡散防止対策が不要(軽微)な潜堤築造工法の実現性を検討する。</p>
<p>一般社団法人 海洋調査協会</p>	<p>水中工事における施工状況把握技術 ー水中レーザースキャナーによる精密測定システムの検証ー</p>	<p>・効率的な港湾工事の施工技術 ・航路啓開における測深・海底状況把握技術 ・海洋における有用な調査技術</p> <p>(実証試験概要イメージ)</p> 	<p>浅海域と同様な条件における、水中レーザースキャナーの基本的な性能を確認する実験を行い、使用上の留意点としてまとめ、今後の実海域での利用に資するものである。</p>